

図書館だより



“三ない”の勧め – 『授業中に私語しない』、『遅刻しない』、『言い訳しない』 –

健康生活学部 健康栄養学科長 渡部 宏臣

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。ところで皆さんが大学へ進学した目的あるいは理由は何でしょうか。健康栄養学科の学生さんなら、「管理栄養士の資格を取るため」が目的かもしれませんね。最近は、「友達が行くから私も」、「親に勧められたから」、「指定校推薦や公募推薦で入れたから」、「就職がなかったから」、「何となく、特別の理由はない」など理由も様々のようです。なにほどもあれ、夢の様に楽しいかもしれない4年間の大学生活はあっという間に終わってしまいます。その4年間をスタートしたばかりの皆さんに気をつけてほしい三つのことを書きますから、最後まで読んでください。

(1) 私語： 大学って何するところですか。そうです、勉強するところです。皆さんは建前的には勉強するために進学したはず。だから大学生の本分すなわち仕事は、勉強することです。勉強は決して楽しい作業ではありません。苦痛も伴います。我慢や忍耐も必要です。大学の授業は1限が90分、高校の1限の2倍近い長さです。静かに授業を受けるのが苦手な学生さんは、私語を始めます。私語っておしゃべりのことですよ。注意するとその時は止めるのですが、しばらくするとまた始めるんです。授業は静かに受けるものだということを教わらなかったんでしょうね。ごく当たり前の基本が身に着いていないんですよ。今からでも遅くはありませんから、授業中は私語をしないようにしましょう。私語は、一緒に授業を受けている学生さんの勉強を妨害するし、授業そのものをも妨害します。90分の授業に耐えられないのなら大学をやめたほうがいいと私は思いますね。中には「授業が面白くないからおしゃべりするのだ！」などとおっしゃる学生さんもいるようですが、大学の授業はエンターテインメントではありません。誤解の無いように。授業が楽しいかどうかと授業の質とは関係ありません。念のため付け加えます。もともと、教員も授業に絶えざる工夫が必要なことは言うまでもありません。10年一日のように講義をしていては確かに問題ですが。

(2) 遅刻： 以前に私の授業を受けている学生で、ほぼ毎回遅刻してくる方がいました。私はこの学生さんのことを密かに“遅刻の女王”と呼んでいました。遅刻といっても10分とか20分とかいうわけではなくせいぜい5分前後なので、「ほんのわずから早く家を出たらどうですか？」と笑みを浮かべながら穏やかに注意したのですが、効果はありませんでした。

この学生さんは“遅刻皆勤”ですが中間試験と期末試験の成績もよかったので“優”を付けました。ちなみに、少し前に本人に確かめたところ、「もう遅刻はしていません」との回答でした。でもみなさんはこの方のマネはしないでくださいね。わずか1分でも遅刻は遅刻ですよ。授業の開始時間前にきちんと着席して授業の準備をするのが学びの基本です。授業に限らず時間を守るのは私たちが生きている社会の基本的な約束事(ルール)です。このルールを守れない方は社会に出てから苦労すること間違いなしです。

(3) 言い訳： 健康栄養学科の学生さんは、4年生になると管理栄養士国家試験に向けて受験勉強に本格的に取り組めます。受験勉強の基本は、国家試験の過去問4、5年分にしっかり取り組むことで、いわば常識です。あるとき業者主催の模擬試験を受け、結果が今一つだった学生さん達(複数!)がその理由として、「今回の模擬試験の問題は過去問だったからできなかった」と言い訳するのを聞いて、私の口はあんぐりと開き、よだれがこぼれてしまい、あわてて拭いたことがあります。この言い訳に“私は過去問を勉強していませんでしたってことだろう!”とツッコミを入れたくなりました。遅刻した言い訳、レポートが遅れた言い訳、ノートを取らない言い訳、ちゃんと話を聞かない言い訳などなど巧みな言い訳が尽きません。とにかく、言い訳せずにやるべきことはやりましょう。後になって“しまった!”と思っても“時すでに遅し”ですよ。

新入生の皆さん、これからの4年間、「私語をしない」「遅刻しない」「言い訳しない」の“三ない”を実践してみませんか。そして、よく遊び、よく学んで実りある4年間にしてください。大学は勉強するところですよ、皆さん!

目次

“三ないの勧め”

『授業中に私語しない』『遅刻しない』『言い訳しない』………	1
本の紹介 若き友人たちへ………	2
I型 自分の解説書………	3
特別研究紹介 iPhoneアプリケーション開発に携わる一人として……	4
卒業研究・ゼミ紹介 フードビジネス学科………	5
情報メディア学科………	6
図書情報センターから………	8



本の紹介

『若き友人たちへ―筑紫哲也ラスト・メッセージ』

筑紫哲也 著 集英社 (2009/10/21) ISBN: 978-4-08-720515-2 定価 735 円(税込)

サブタイトルに「筑紫哲也ラスト・メッセージ」とあるように、本書は 2008 年に物故したジャーナリスト筑紫哲也氏の遺稿集だ。いや正確には遺稿集ではなく、彼が 2003 年から 2008 年にかけて早稲田大学と立命館大学で、主に大学院生に向けた講座で話したものを収録したものである。

筑紫氏は大学卒業後朝日新聞社に入社、政治記者、ワシントン支局を経て総合週刊誌「朝日ジャーナル」編集長につく。1960 年代の大学生の知的生活を表して「得(右)手にジャーナル、弓(左)手に(少年)マガジン」というのがある。硬派の週刊誌と新しく生まれた少年コミック週刊誌を、同時に愛読するアンビバレンツな大学生の特徴を表したものだ。今はないこの硬派の週刊誌編集長を経て、後にニュースキヤスターに転じた。およそ 50 年にわたり、第一線のジャーナリストとして、国を、世界を、時代を見続けて来た。

その筑紫氏が数年にわたる大学生との交流を通じ、次代に残しておきたい言葉をまとめたとい集英社に新書の発行を提案する。このとき彼はすでに病に冒されていて、一気に新書の書き下ろしは無理だから、同社の刊行 PR 誌へ連載をして後に 1 冊にまとめる方式をとる。2008 年夏に連載が始まるが、2 回を終えて筑紫氏は逝去する。この「若き友人たちへの手紙」と題された連載 2 回分は、本書の前書きとして収録されている。その第 1 回目で氏は、今の世の中、今の日本がとても深刻な状況にあること、そして「そういう世の中をつくって次世代に渡さなければならない者の、最低限の「世代責任」として伝えたいことを伝える」と記している。

残しておきたい言葉があるとしながら、自分たち世代の言葉が若者世代に伝わらないこと、若者世代の言葉が自分たちには分からないことを、講座での経験で紹介する。そして若者世代の最悪の言葉として「KY」をあげる。この言葉の持つ脅迫性を、「空気を読み、さもないと、おまえは時代遅れだぞ、仲間はずれだぞ、と脅している」という。彼は日本の歴史で最大、最悪の国家的失敗(破滅)を太平洋戦

争に突入したこととしているが、その原因を辿ると「KY」の凝縮されたものに行き着くとしている。

本書は全 11 章に分かれ、憲法、日本人論(2 回)、沖縄(戦争論)、メディア論、ジャーナリズム論、国家、教育論、知識論、日本の現実、日本の行方について若い世代に分かりやすい言葉で語りかけている。一貫して貫かれている姿勢は、「誰か声の大きい人、権威といわれるものから発信されることを、そのまま鵜呑みにしないように」ということだ。

「愛国主義は悪党の最後の隠れ家である」と、筑紫氏は本書の中で語る。誰もが反対しづらい美辞麗句、思わず振り向いてしまうほどの大きな声には注意が必要だ、という意味だ。自己の正当性だけを強く主張する背景には、相手(の国)を理解しようとしないうる心が見え隠れしている。どうもこの国も、そんな傾向が強くなってきているように感ずる、ということがこの本から伺える。

ともかく、自分の頭で考えよう、自分の目で確かめよう。そのことがいかに素晴らしいかを知って欲しいと、「若い友人」に語りかけている。第 9 章で、現代社会でわれわれは、情報 information を多く摂取している。次が知識 knowledge。そして本当の意味での知恵、判断する力として

wisdom がある。この I、K、W が形作る三角形を筑紫氏は「知の三角形」と名付けている。情報におぼれそうな人たちは「I」の摂取量ばかりがやたら多く、それを判断するための知識「K」が少なく、最終判断のための「W」の面積は圧倒的に狭いと指摘する。情報社会を生きるには「W」の領域を増やす必要があるが、人間がいきなり賢くなって「W」の面積が増えることはない。やはり、真ん中の領域である知識量「K」を増やすことが重要になってくる。そのためには、学ぶことが必要になる。

どうやれば知識を蓄積することができるのかを、しっかりと考えて欲しい、と「命令型でよかった日本語を懇願型の婉曲話法に変えていくほど心優しい若者たち」(本文より)に訴えている。

自分の頭で考えるきっかけとして、若いみなさんに是非読んで欲しい一冊だ。

【本の紹介者】

石川 秀憲： フードビジネス学科 教授

『I 型 自分の説明書』

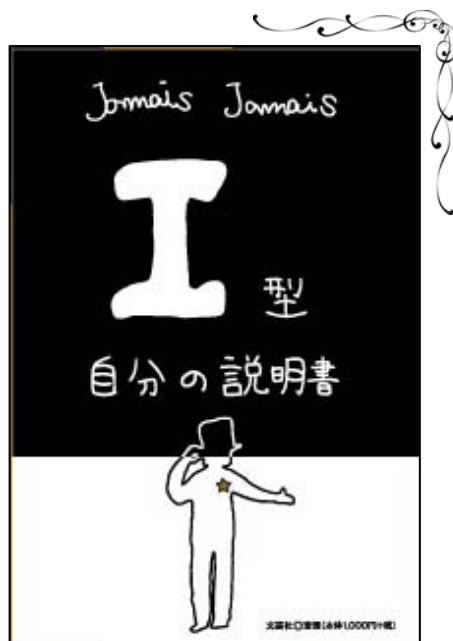
Jamais Jamais (じゃめ じゃめ) 著 文芸社 (2009/12)

ISBN: 978-4-286-0813-1 定価 1050 円 (税込)

みなさんの血液型は何型ですか？人間には 4 種類の血液型があり、それぞれに特徴がありますね。本屋に立ち寄った人なら、一度は目にかけていたことがあると思います。この 4 冊「A 型 自分の説明書」「B 型 自分の説明書」「O 型 自分の説明書」「AB 型 自分の説明書」。今回紹介させていただく本は、この 4 冊の本の作者の新作「I 型 自分の説明書」です。

I 型と聞いても、そんな血液型ないし...、と思うでしょう。著者によると I 型とは「I=私」という意味で、A、B、O、AB のようにくられた中の一人ではなく、個性を大事にする血液型だそうです。

本の中身はどうなっているかと言うと、セミにも血液型があったとしたらという設定で鳴き方の違いを紹介したり、ストーリーが決まっているピノキオや浦島太郎などの童話を例にあげ、主人公が A 型だったら、B 型だった



ら...と想定して、血液型の違いによってストーリーがどのように変わってしまうかを、分かりやすく表現してあります。

自分が多くの童話の主人公だったとしたら、きっと同じ行動をとるかもしれない、思うことがいっぱいです。

血液型によって行動が異なるなんて、ありえないと思う人もいるでしょう。けど一度読んでみてください。意外と面白いです。そして意外と当たっています(笑)。また A 型なのに O 型の要素があったり、自分はやっぱり B 型だなと思うかもしれません。なんやかんやで皆さんが興味のある血液型。血液型の奥深さを追求し、完成したこの 1 冊をお勧めします。(^◇^)

【本の紹介者】

駒屋 築：PR 学科 2 年



特別研究紹介

iPhone アプリケーション開発に携わる一人として

私が名古屋文理大学に勤めて5年目になります。2005年に勤め始めたばかりの頃はちょうどアメリカから帰国したばかりでした。紙幣も新札に変わり、すっかり浦島太郎状態であったと記憶しています。アメリカで学んだ教育法や、何でも人がやっていない事をやってみようという意気込みで教壇にたった気持ちは今でも忘れません。そして、人と同じ事が嫌い、常に面白い視点を持ち、人が無理だという事でも何が何でも形にするんだという気合いで満ちあふれていました。もちろん今でもその想いは変わりません。

こうした5年間の経験の中で学んだ事は、様々なレベルの学生がいる中で、私は一人の教員として「生き様」を見せることが大事だと思うようになりました。自分は本当に無知で、世間知らずの人間です。ただ、それは自分の武器だとも思うのです。知らないからこそ私は知りたいと思います。だからこそ、知りたいもののために世界を回ります。そこには目を見張る程面白いアイデアや作品、人々があふれています。そうした生産的な環境から文理大学を見たときに、ここで何とか世界に通用する視点や生産的な活動をしていこうと思った訳です。そうした行動力と実行力を学生に伝えていく事が自分の使命だとも思います。iPhone アプリケーションの開発に乗り出したのも、常にそうしたアンテナを持っていたからだとも思います。

私はアートが専門の教員です。プログラミングなんてとんでもなく遠くはなれた世界でした。当然学生



の方が知識はあるし、私はとても太刀打ちできません。しかし、出来る訳がないと思わず、とりあえず始めてみた事が広がり、産学連携をし、学生がアプリケーションを開発し世界に向けて販売するところまで進むことができました。朝9時から夕方5時まで大学の研究室にこもらず、様々なところに顔をだして世界をリードする方々と話をし、それをビジネスモデルとして展開している多くの企業の方々の考えに触れ、それらを基に学生に新しい可能性を与える事が出来たことが功を奏したと思います。

大学が就職斡旋をするようになってから大学の専門学校化が進み、難題を抱えるようになったと記憶しています。そこで考えるのは、就職斡旋の根幹は、学生一人一人が自分のやりたい事を見つける、そしてできる事を見つける手助けをすることだと思います。そうした技術だけではないインターディシプリナ要素をベースとした上で体験、実践的活動をすることで、知識技術を体得していく活動が今後増えることによって、我々の名古屋文理大学が専門学校とは違う大学らしい専門性を高めていけるのではないかと考えています。授業や、役職、教師、生徒の垣根を越えて多くの方々のご協力があってこそこの活動です。ここでお礼を述べるとともに、今後ともご指導ご鞭撻賜ればと思います。

【紹介者】

佐原 理： 情報メディア学科 助教



卒業研究・卒業演習紹介

フードビジネス学科 卒業演習紹介

平成 21 年度にフードビジネス学科で行われた卒業研究のゼミと主な卒業研究を紹介します。

■ 清水俊雄ゼミ ■

○特定保健用食品の許可状況と市場動向 仲田浩明、榊原悠也

「お腹の調子」、「血圧」などの機能別と、一般審査型、規格基準型、リスク低減、再許可型などの審査タイプ別に分けて、経時的に許可の状況を調査した結果、再許可型、規格基準型が増加することで全体の許可数は 2007 年まで増加している。2008 年以降は減少しているが、審査が厚生労働省から消費者庁へ移管したことがひとつの理由であると考えられる。

○若年層の特定保健用食品に対する認知度 渡會恵利華

大学生約 150 人に対するアンケートを実施した結果、認知度は約 95%であった。女性で「お腹の調子」、「体脂肪」についての製品の摂食実績が高く、摂取した食品形態は飲料、ヨーグルトが多く、錠剤、カプセルの摂取経験は殆どなかった。今後開発が望まれる機能は、女性では「肌の健康」、男性では「目の疲れ」であり、「疲労回復」が男女共高い値であった。

○健康食品の新聞広告に関する調査 太田和希、内山隆介

朝日、日経、中日 3 紙の 9 月 - 11 月の 7 週間の紙面における各種広告の占める面積を調査した結果、書籍・出版、電気製品、健康食品の順であり、健康食品は市場規模に比較して大きい割合であった。効果表現を分類した結果、健康全般、関節、ダイエットの順で多く、成分ではコンドロイチン・グルコサミン、黒酢、酵素の順であった。（薬事法の観点を加えて、*New Diet Therapy* に投稿予定）

■ 須藤裕之ゼミ ■

演習テーマは、「わが国食品貿易の研究」です。21 年度は「食生活データ総合統計年鑑」などのデータをもとに、身近な食生活における貿易問題について考えました。こうした勉強の各論として、ゼミ生である源田瑞穂さんが「日本酒のこれからを考える～消費復活に向けて～」というテーマで卒業研究を行いました。内容としては、近年の「日本酒離れ」の現状や消費量を増大させるための方策について、資料・文献研究のほか、独自のアンケート調査を行ない、結論として、国内においてはもっと若い女性に受け入れられるような商品開発努力が必要なこと、販路を国内だけでなく海外にも広げていくべきことの意味やその具体的な方策についてまとめています。

■ 関川靖ゼミ ■

このゼミでは、後悔するような「衝動買い」や「つい買って」、「2 番目に高いメニューがなぜ売れるのか」など、従来の経済学では説明できないような消費者の購買行動における意思決定を、経済学と心理学の両面を併せ持つ「行動の経済学」を用いて研究しています。

今年度のゼミ生の主な卒業研究としては、竹部優佳さんの「購買行動の意思決定に関する考察」では、購買の意思決定を「値ごろ感」で説明し、実際に売り手側のこの値ごろ感を高める多様な手法を研究しました。立石康博君の「行動の経済理論の考察」は、従来の経済学と行動の経済学の前提条件を比較考察するとともに、意思決定におけるヒューリスティック（意思決定において、情報をすべて用いずに意思決定をしてしまうという近道選び）や、プロスペクト理論（人間は損失回避性が強く、しかも表現方法によってまったく違った受け取り方をしてしまう）、現在重視の時間割引率（計画を立てて行動せず、現在の楽しみを重視する傾向にある）など、行動の経済理論の分析・研究を丁寧に行いました。

■ 中村麻理ゼミ ■

卒業演習においては、地元外食企業であるスガキシステムズ(株)との産学連携に取り組みました。具体的には、新商品のコンセプト作成と大学生によるスガキヤ利用の実態調査です。また、平成 21 年度の卒業研究としては、小林孝行さんが「卒業制作～惣菜アイデアメニューコンテストに向けて～」という課題に挑戦し、日本食糧新聞社主催の「惣菜アイデアメニューコンテスト」(日本最大の外食展示会であるファベックスの併催行事)に「三色ニョッキのコンラタソース」というオリジナルレシピを出品しました。市場調査をふまえてコンセプトワークを行い、「食材原価を抑える」「地産地消」「調理の工夫でおいしさアップ」といったアイデアを活かして仕上げました。

■ 山田ゆかりゼミ ■

このゼミでは、食行動および食の消費者行動を中心に、心理学の視点で研究しています。研究方法としては、調査・実験・観察などを重視しています。

平成 21 年度の卒業研究テーマは多彩ですが、主なものを紹介します。「小学生の食物好悪 野菜の摂取を中心として」「接客アルバイトの感情労働 ホスピタリティとの関連について」「プライベートブランドの認知と口コミ情報の影響」「若者のライフスタイル研究 食にかかわる消費態度を中心として」「飲食料摂取とジェンダーの関連性について」「接客アルバイトにおける上司のリーダーシップについて」「食品テレビ CM の印象評価」

■ 吉田洋ゼミ ■

このゼミでは、創業計画書を中心にカフェの開業計画の作成を卒業研究としています。本年度は星野多愛さんが、「カフェ開業プラン - コンセプト、メニューの考案、創業計画書の作成」というタイトルで卒業研究に取り組みました。“女性が考えた女性のためのカフェ”作りをコンセプトに店舗内容や予算、メニューまでトータルに考え開業までの流れを提案しました。卒業研究報告会での発表は STEP 1 カフェコンセプト、STEP 2 メニューの考案、STEP 3 創業計画書の作成まででしたが、セレクトランチ方式で 20 種類の中から 4 種類のおかずを選んでもらうといったよく考えられた内容でした。

情報メディア学科

卒業研究紹介

去る 3 月 16 日、平成 21 年度の卒業研究の中から優秀な研究として卒業研究奨励賞の推薦を受けた研究に対して、研究者の表彰と賞品の授与式が行われました。卒業研究奨励賞を授賞した 9 件・9 名の研究について、推薦者からのコメントを掲載いたします。

■ 映像視聴における触覚的体験の実験と考察 高橋 美帆 (指導教員: 佐原理助教)

本研究では、触覚によるオブジェクトの認知の有無がオブジェクトの視覚認知に与える影響の違いを、アンケートを用いて明らかにしようとしている。優れた研究に熱心に取り込み推薦に値する。
(推薦者: 周欣欣准教授)

■ オンラインカードゲーム「LORD of VERMILION」をもとにしたボードゲーム「Lov」の制作 飯沼 大 (指導教員: 田近一郎准教授)

ゲームのルールとカードのデザインに加え JavaGUI を活かしたゲーム画面の制作およびゲームバランスに関する考察など制作にかけた努力と情熱を高く評価する。AI プレイヤーの実装など今後の発展を期待する。
(推薦者: 小橋一秀准教授)

■DTPによる「日帰り温泉旅路記 2010」の作成 温浴施設の区分定義と利用システムの考察を反映して
白石 貴裕 (指導教員：長谷川聡教授・横田正恵准教授)

一般の温泉紹介の分類法に疑問を持ち、自らの体験に基づく定義付けから旅路記を制作した。質、量ともに完成されたものであり、温浴施設からの許可があれば一般に公開することも可能と思われる程のレベルであることを考え推薦する。(推薦者：大矢信吾准教授)

■メールを利用した家電製品の遠隔操作 田中 友規 (指導教員：小橋一秀准教授)

PCを介してメールで複数の機器を制御できるホームITシステムをハードから制御用ソフトまでトータルに開発した意欲的な研究である。セキュリティを保証するしくみ、システムの拡張性の点でも実用性が高く、評価に値する。(推薦者：田近一郎准教授)

■プラグイン・シンセサイザーによる楽曲制作 佐藤 桂一 (指導教員：吉田友敬准教授)

佐藤君は、音楽制作ソフトの基本機能を越えた、プラグインの音源を駆使し、電子音楽特有の音色を生かしながら、先進的な楽曲を制作した。制作技法とともに、楽曲の内容においても、標準的な音楽理論を習得した上で、それを逸脱する個性的な作品を仕上げ、大変魅力的な楽曲としたので、卒研発表優秀者として推薦する。(推薦者：山住富也教授・吉田友敬准教授)

■音楽理論に重点を置いた作曲法の実践 丹羽 由宇 (指導教員：吉田友敬准教授)

丹羽君は音楽理論についての勉強を大変積極的・自主的に進め、これを基盤とした楽曲制作法を確立し、卒業制作作品に生かした。また、ゼミ内をまとめ、他のゼミ学生を指導するなど、ゼミ活動の活性化にも大きく貢献してきたので、卒研発表優秀者として推薦する。(推薦者：山住富也教授・吉田友敬准教授)

■TILT SHIFT FAKE と TIME LAPSE を使用したジオラマ風動画制作 服部 俊男 (指導教員：森博教授)

近年実写の写真や動画を加工しジオラマ風に仕上げた作品が注目されているが、本作品もその一つである。作品制作において、加工元動画の撮影技術、被写体の選択の適切さ、撮影方法の点である程度完成されたものを有している。また、手間のかかる画像処理をこなし、作品にまで仕上げたところを評価する。(推薦者：大矢信吾准教授)

■CGによる殺陣のアニメーションに関する研究 山本 英明 (指導教員：周欣欣准教授)

山本君は、CGソフトによって、殺陣に関する物品や人物など、あらゆるものをモデリングし、それを連続的にレンダリングすることによって、殺陣のアニメーションを作成した。一枚一枚のCGがていねいに作られており、大変労力をかけて多くのCGをレンダリングすることで、コマ撮りアニメに仕上げた。その労力に対して、卒研発表優秀者として推薦する。(推薦者：吉田友敬准教授)

■MIDIを用いた楽曲制作 伊藤 いのり (指導教員：吉田友敬准教授)

伊藤さんは、楽曲制作ソフトにおけるMIDI機能とオーディオ機能の特徴をよく生かし、単なる打ち込み音楽でなく、コーラスパートを自身の声で多重に録音するなど、高度な楽曲制作テクニックを駆使して、魅力ある作品を制作した。美しいコード進行に落ち着いたメロディを透明な声で表現する、完成度の高いパフォーマンスであったので、卒研発表優秀者に推薦する。(推薦者：山住富也教授・吉田友敬准教授)

受賞式にて



図書情報センターから

OPAC システム

図書館には、OPAC という蔵書検索システムがあるをご存知ですか？図書館を利用している人も、OPAC を利用している人は、まだまだ少ないのではないのでしょうか。本学では、図書館内の専用端末はもちろんのこと、学内のネットワークを利用できるどのパソコンからでも OPAC へ接続することができます。まずは、図書館ホームページを閲覧ください。OPAC の利用方法の詳細や開館日、その他いろいろな情報を知ることができます。

図書情報センターホームページ内「蔵書検索（学内専用）」より OPAC システム画面へ

The screenshot shows the OPAC system interface for Nagoya University Library. It features a navigation menu with '蔵書検索' (Book Search), '新着照会' (New Arrivals), and '貸出予約照会' (Loan Reservation). Three callout boxes with arrows point to these options, with text: 'タイトル,著者,出版社等,キーワードから資料を検索' (Search for materials by title, author, publisher, etc., or keywords), '新着資料の照会' (Check for new arrivals), and '貸出中の資料の予約' (Reserve materials currently on loan).

日経 BP 記事検索サービス（大学版）

2010.4 月より契約開始!!

トライアルを実施していました「日経 BP 記事検索サービス」の契約を、2010 年 4 月より結ぶことに決まりました。

日経 BP 記事検索サービスは、日経 BP 社が発行する雑誌の記事を検索できるサービスです。ビジネスやパソコン、医療などさまざまな分野の専門誌約 50 誌をそろえています。レポート作成の資料として、業界や企業の情報を集める道具として、パソコンのスキルを身に付ける教科書として、さまざまな用途に活用できます。（日経 BP 記事検索サービス、クイックガイドより抜粋）

日経 BP 記事検索サービストップページ

The screenshot shows the homepage of the Nihon Keizai BP Article Search Service. It features a search bar at the top, a main content area with various article listings, and a sidebar with '日経ビジネス' (Nihon Keizai Business) and '人気記事ランキング' (Popular Article Ranking). The main content area includes a featured article titled '環境後進国ニッポン' (Environmentally Lagging Japan) and several other articles with titles like '台頭する中企業-知恵と貪欲さで圧倒' (Rising Mid-sized Companies - Overwhelming with Wisdom and Greed) and '飛躍への課題-日本流' (Challenges for Leap - Japanese Style).

<利用方法>

図書館ホームページのメニューよりアクセスし、日経 BP 記事検索サービスのトップページ左フレームの一番下に、『使い方』の説明ページへとぶ』ボタンが並んでいますので、参照してください。

図書館 1 階カウンターに、記事検索サービスの紹介パンフレットやクイックガイドが置いてあります。

ぜひ、ご活用ください。



平成 22 年 4 月
編集：名古屋文理大学図書情報委員会
発行：名古屋文理大学図書情報センター

492-8520 稲沢市稲沢町前田 365
Tel: 0587(23)2400 Fax: 0587(21)2844
e-mail: toshokan@nagoya-bunri.ac.jp